

寒さは行きつ戻りつしながらも、日が長くなり春の気配が感じられます。早春に咲く花は、マンサク、ロウバイ、サンシュユ、福寿草、スイセン、立金花、レンギョウ、菜の花など、黄色の花が多いと言われます。黄色は有彩色の中で一番明るい色で、光や太陽のイメージです。昼夜を問わず認識しやすいので注意の色として使われます。一説によれば、早春にいち早く活動を始める昆虫は黄色い色に敏感だと言われています。昆虫の目には単眼と呼ばれる器官があって、光を受容します。昆虫が受容出来る光の波長は人に比べて短波長で、300nm～650nm (nm: ナノメートル = 10のマイナス9乗メートル) の範囲だと言われています。紫外線を含む青や紫の短波長の光には昆虫は反応しやすく、赤色の様な長波長の光には反応が鈍いのです。人間には黄色い花や白い花も昆虫には淡い青色に写るそうです。



### [最近目立つ病気]

今シーズンのインフルエンザは今年の11月はじめから流行の兆しがみられ12月上旬には流行期に入りました。その後ダラダラと流行が続いています。当初はA香港型のみでしたが、B型やAソ連型も混合流行しています。実際にA型とB型の2回罹患された人、A型に2回罹患された人がいらっしゃいます。

その他、感染性胃腸炎は勢いは衰えましたが、まだ流行が続いています。アデノウイルス感染症や溶連菌感染症もみられます。マイコプラズマ肺炎も時々みられます。マクロライド系抗生剤に耐性の難治性の株もみられるようです。乳幼児のRSウイルス感染症が時々みられます。おたふくかぜは、ほとんどみられなくなりました。水痘も乳幼児期の2回の定期予防接種の効果がみられ、流行はほとんどみられなくなりました。花粉症や気管支喘息等のアレルギー疾患が春の陽気とともに増えています。春秋の季節の変わり目は、咳が長びきます。気道感染症とアレルギー症状が合併していることもよくあります。毎度のことですが、うがい、手洗い、マスクという基本的な感染症予防が重要です。

### [RSウイルスとhMPVウイルス]

ヒトメタニューモウイルスは2001年に発見されたウイルスです。ヒトのウイルスの中で遺伝子が一番類似しているウイルスは、臨床症状も似ているRSウイルスです。

ウイルス性の呼吸器感染症の中で小児では5～10%、成人では2～4%はヒトメタニューモウイルスが原因と推測されています。1～2歳で最も多く感染し、一度の感染では終生免疫が得られず、乳幼児期においても再感染を頻繁に起こすとされています。

日本では3～6月に流行し、ヒトへの感染は飛沫感染と手指を介した接触感染です。

4～6日の潜伏期間で、1～2週間間のウイルス排泄期間があります。年長児や健康成人は上気道感染症であるとされますが、乳幼児や高齢者は重症な下気道呼吸器感染症(細菌性気管支炎、喘息様気管支炎、肺炎など)

となることがあります。

臨床症状は、発熱、咳嗽、鼻汁がいずれも90%以上の患児で見られ、その他、呼吸困難、嘔吐、下痢、頭痛がみられます。

2012年4月にヒトメタニューモウイルスの迅速キットが発売されました。その後2014年1月1日から『hMPV感染症が疑われる6歳未満の患者であって、画像診断により肺炎が強く疑われる患者』の検査に対し保険適用になりました。治療は、重症度にあつた対症療法が基本です。

RSVは11月～4月頃なので、RSVが治まってからhMPVという感じですが最近RSVが1年中流行するので診断は難しくなっています。年齢的にはRSVは1歳以下に多いのに対し、hMPVは1～2歳に多く、RSVより少し遅れて初感染を受けます。

RSVとhMPVの臨床症状および検査所見はほぼ同様ですので迅速検査をしない限り診断はつきません。

### [金沢市の乳幼児健康診断]

金沢市では平成29年度から2歳児健診と3歳児健診の時期が変更になります。

まず、対象年齢は2歳児健診は2歳4～9ヶ月(従来は2歳0～5ヶ月)、3歳児健診は3歳6ヶ月(従来は3歳0～2ヶ月)に引き上げられます。新体制からの健診対象者は、2歳児健診は平成27年2月生まれから、3歳児健診は平成26年2月生まれからとなります。したがって、平成29年4月から7月は移行期間につき、保健所での3歳児健診は行われません。

変更の理由は、3歳児健診を3歳6ヶ月に行うことにより、発育・発達・視力の見極めがより確実となり

療育や支援につなげることが出来ることです。特に視力検査についてはランドルト環を使用した検査が可能となり検査の精度が向上します。2歳児健診は3歳児健診の期間の変更に伴うもので、1歳半健診との間隔も考慮して決められました。

### [当院で実施しない定期予防接種]

子宮頸がんワクチンについては安全性の検証が完全に行われな限り当分の間実施しません。

不活化ポリオワクチン(イモバックス)については対象者がほとんどみられなくなったため、平成29年度より実施していません。接種希望者は金沢市保健所にお問い合わせください。

おしらせ



☆大手町の夜間急病診療所(TEL:222-0099)では午後7時から11時まで、小児科と内科の診療を年中無休で行っています。加畑の担当は、4/9、4/23、5/21、6/15、7/20の予定です。なお6/25は当番医です。

☆金沢市では幼児期の任意接種のワクチン(おたふくかぜ・インフルエンザ・B型肝炎ワクチン)についての助成金制度を行っています。詳細は受付でお尋ね下さい。

☆世界の宝「憲法9条」を次の世代に贈りましょう。

